

2019年度経営学部FD 活動方針・活動計画

経営学部FD 委員会委員

2019年度は、これまでの活動を踏まえた上で有効と考えられる、以下の取り組みを計画している。

1. 学生および保護者の意見聴取

成績優秀者との懇談会、ゼミ長会議、父母の集いにおける懇談会などを実施し、学生や保護者からの意見・要望を聴取する。聴取した内容は、教員間で情報共有すると共に、対応が必要な事項を明確にする。

2. FD 講演会・研修会等の開催

本年度も、学内外の講師を招き、FD 講演会・研修会を開催する。「アクティブラーニング」「クォーター制」などに関連して、学部としても導入の参考になるようなFD講演会・研修会の実施を考える。

3. 「基礎演習A・B」および「基礎演習C・D」担当教員会議の実施

当該科目の運営と学生の状況、クォーター制度の効果や問題点に関する情報交換や議論を行う。ここでたとえば、個別に教員が取り組んでいるアクティブラーニングの情報を共有する。教員ごとに、統一フォーマットのウェブ入力項目に授業の取り組み状況（使用教材や進め方、学生の状況、気が付いたことなど）を記入してもらい、情報の共有と蓄積をおこなう。

4. 教育・研究業績リストの掲載

2011 年度より実施している学部教員の教育・研究業績のリストの学内紀要への掲載を、本年度以降も継続する。教育・研究実績を目にみえる形にすることによって教員の意識向上を図る。

5. 学生アンケート調査結果の情報共有

経営学部生（1年生と卒業年次生）を対象に、アンケート調査を行っている。たとえば1年生には、授業の満足度、学習時間、授業への要望などを尋ねている。この集計結果を、上述3.「基礎演習A・B」および「基礎演習C・D」担当教員会議で共有し、授業改善の工夫を話しあう。